

芸術の秋、

企画特集
in さいたま市

日本文化の^をアートを

楽しみませんか。



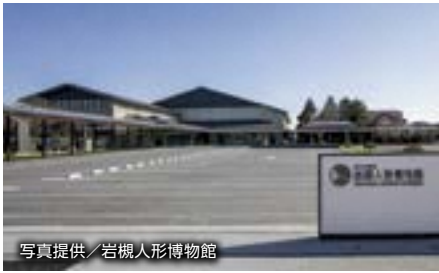
さいたま市には、世界初の公立盆栽美術館と日本初の公立人形博物館があることをご存知ですか。

日本文化に浸透した盆栽と人形。世界に誇れる文化とその歴史について、この秋、さいたま市で楽しんでみてはいかがでしょうか。



全国でも有数の「人形のまち」と知られるさいたま市岩槻区に2020年2月にオープン。人と人形の歴史を探り、未来へと人形文化を継承する博物館として誕生しました。人形や人形文化に関する資料の収集・保存、調査研究を行い、展覧会や教育普及活動などを通して、多くの方々に人形への親しみを持っていただけるような企画に取り組んでいきます。

館の周辺には江戸時代に建設された「時の鐘」や藩校「岩槻遷善館」といった史跡や江戸の面影が、今も残っています。さらに城址公園には「岩槻城の長屋門(通称:黒門)」も残っており、人形文化の芸術と歴史に触れたあと、少し足を延ばして、秋のまち巡りをするのも良いのではないのでしょうか。



写真提供/岩槻人形博物館

さいたま市岩槻区本町6丁目1-1
TEL 048-749-0222
開館時間/9:00~17:00
※閉館時刻の30分前までにご入館ください。
休館日/月曜日(休日の場合は開館)
年末年始(12月28日から1月4日まで)

特別展

こどものかたち — 創作人形の力展^{ちから}

~平田郷陽・野口光彦を中心に~

会期:10月3日(土)~11月23日(月・祝)



桃太郎 平田郷陽作(左)
童心戯笛 野口光彦作(右)

昭和初期に人形芸術運動で人形の芸術的価値を高めることに尽力した、平田郷陽(1903-1981:人間国宝)、と野口光彦(1896-1977)の二人の人形作家を中心に、作家の手による子供や親子のかたちを表した作品を展示する特別展を開催。両作家の作品は、館でも所蔵しており、今回の特別展と常設展をあわせて楽しむこともできます。(写真提供/岩槻人形博物館)



さいたま市

大宮盆栽美術館

世界初の公立の「盆栽美術館」。

名高い大宮の盆栽村に近接して設けられた館は、旧高木盆栽美術館のコレクションをひとつの核とした盆栽の名品、優品をはじめ、盆栽用の植木鉢である盆器や、一般には水石と呼ばれる鑑賞石、盆栽が画面に登場する浮世絵などの絵画作品、それに、盆栽に関わる各種の歴史・民俗資料等を系統的に収集、企画展として公開をしています。

今秋は、季節の見ごろを迎える盆栽を紹介する「コレクション名品展・秋」や盆栽文化に関する園芸書や浮世絵版画を展示する「コレクション名品選」の企画展を開催予定。

また「第29回作家展(日本盆栽作家協会)」も予定しています。

詳しくは、WEBサイトでご確認ください。



写真提供/大宮盆栽美術館

さいたま市北区土呂町2-24-3
TEL 048-780-2091 FAX 048-668-2323
開館時間/ (3月~10月) 9:00~16:30
(11月~2月) 9:00~16:00
※閉館時刻の30分前までにご入館ください。
休館日/木曜日(祝日の場合は開館)
年末年始、臨時休館日あり

大宮盆栽美術館 秋の企画展情報

●企画展「コレクション名品展・秋」(所蔵品展)

大宮盆栽美術館所蔵の盆栽をはじめ、季節感あふれる盆器や水石の名品を9席にわたって紹介。秋に見ごろを迎える盆栽を週替わりで展示しますので、刻一刻と色づきはじめる盆栽の姿をお楽しみください。

期日 10月2日(金)~11月4日(水)/会場 館内コレクションギャラリー

●企画展「コレクション名品選」

盆栽が描かれた浮世絵や江戸時代の園芸書、盆栽を写した古写真など、大宮盆栽美術館が収集した盆栽文化に関する所蔵品の中から、季節に合わせた名品を紹介。初公開の資料など貴重な名品の数々を展示されるとのことで、この機会にぜひお出かけください。

期日 10月2日(金)~11月25日(水)/会場 館内企画展示室



山もみじ 銘「武蔵ヶ丘」
写真提供/大宮盆栽美術館